昭和51年
3月1日号
第121号
発行所　津奈木町役場
編集総務課
印刷所　三和印刷

町報 つなぎ

三月の暦

一日　全国緑化運動
三日　ひなまつり
七日　家庭の日
　　消防の日
二十日　春分の日
二十五日　電気記念日
〃　年度末　貯蓄運動
〃　春の火災予防運動

確定申告と納税は3月15日まで

所得税の確定申告と納税の期限は、3月15日までです。まだ、申告と納税のお済みでない方は、期限までにお済ませください。

申告書は、御自分で書いていただくことになっていますが、書き方などでお分かりにならないときは、税務署や市町村の納税相談会場、税理士会の無料納税相談所で御相談ください。

確定申告に誤りがあったとき

所得税の確定申告は、三月十五日で終りますが、申告書を出した後で間違いに気付かれた方はいらっしゃいませんか。

申告書の間違いは、税務署に手続きすると正しい申告に直すことができます。例えば、申告書に社会保険料控除や扶養控除などの控除額を書き忘れ、実際よりも税金を納めすぎていた場合は、「更正の請求」で訂正することができます。この「更正の請求」のできる期限は、来年の三月十五日までとなっています。

また、申告を漏らしていた所得があるなど、税金を実際よりも少なく申告していた場合には、「修正申告」で正しい金額に訂正してください。「更正の請求」や「修正申告」の用紙は、税務署に用意してあります。

よく考えて 老令年金の繰上げ請求

国民年金の老令年金は、六十五歳から支給されますが、本人が希望すれば六十歳から繰上請求ができます。

しかし、ちょっと待ってください。この繰上請求をすると、大幅に減額され、次のような少ない年金しか受けられません。

受給年月	六十五才 受給額	六十才繰上げ 受給額	差減額
四十六年五月	五、〇〇〇円	三、九〇〇円	一、一〇〇円
四十九年一月	一三、五〇〇円	九、二五〇円	四、二五〇円
四十九年九月	一四、五一二円	九、八一五円	四、六九七円
五十年九月	一七、六七四円	一二、二五八円	七四二九円

このようにみますと、六十五才から減額されない年金を請求されるのがよいのではないでしょうか？よくお考え下さい。

六十一歳の場合　五十八％
六十二　〃　六十五％
六十三　〃　七十二％
六十四　〃　八十九％

この繰上請求で減額された割合は、生涯続きますので、物価スライドなどで年金額が増額されても、同じ割合で減額されます。

こうした減額を、十年年金についてみますと次の表のとおりです。

国民年金の保険料が改められます

「四月から千四百円に」

昭和五十一年四月から国民年金の保険料は、これまでの千百円から千四百円に改められます。

国民年金は、歳をとったり、障害となったりしたときに年金を支払って、加入者の生活の安定を図るためのものです。そのために、一昨年、昨年と二年連続で物価スライドによる増額が行なわれ、合わせて四一、五%も年金額がふえました。

このようなこともあって、保険料が引上げられます。

国民年金制度が、健全に発展していくためには、これからも引上げを図らなければならないと思われます。将来のあなたの年金をよりよくするために、ぜひご協力ください。

農業者年金加入について

※次の人はすぐ加入手続きをして下さい

●●●